

# 第4回統計等データの提供等に関するユーザーからの 要望・提案募集 検討結果

## 1. 調査対象者の負担軽減の要望

No	要望・提案名	具体的な要望・提案の内容とその理由	検討結果の内容
1	経済センサスの中止	<p>何の役にたっているかもわからないデータを 決算書や、帳簿をみながら入力しなければいけないのは、企業、特に中小零細企業の担当者にとって無駄な労力です。入力したら、法人税でも減免されるなら頑張りますが、一切のメリットはありません。一般企業は、情報（データ）が欲しければお金を払って収集（購入）するのが常識です。なぜ、官庁は、国民に無償の労力を強いて、情報を吸い上げる権利があるのでしょうか？ しかも、漠然とした経済指標をつくって、役にたっているとも考えられない。一度、中止すべき。そして、<u>明確な目的、結果を示して、データの収集の意味を公示し、対価を支払って収集すべき。</u>当たり前なことを当たり前にするのが、行政には欠如しています。</p>	<p>経済センサス - 活動調査は、我が国の全産業分野におけるすべての事業所及び企業の経済活動の状態を全国的及び地域別に明らかにするとともに、事業所・企業を対象とする各種統計調査の基礎となる母集団情報の整備を図ることを目的とした、統計法（平成19年法律第53号）に基づく基幹統計調査です。<u>調査の結果は、地方消費税の都道府県間の清算を行うための基礎資料などの各種法令に基づく利用及び各種政策立案のための利用のほか、事業者の皆様方においても、地域ごとの既存店舗の状況を把握するなど、新規店舗の出店計画のための基礎資料などとして活用していただいております。</u></p> <p>また、調査事項については、法令等との関係や施策への利活用といった有用性、記入者が設問を正しく理解し記入できるかといった正確性の確保など様々な観点から総合的な検討を行い、調査の実施計画案を策定の上、有識者からなる統計委員会の諮問・答申を受けて承認されています。</p> <p><u>引き続き、記入者の負担軽減等の観点から見直しの検討を行うとともに、実施の際には調査の目的等について広報に努めてまいります。</u></p>